

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立宝栄小

学校

児童数

64

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.09	17.45	30.21	34.67	34.97	10.35	139.33	19.39	43.10
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.00	18.03	34.42	36.27	36.45	9.82	137.90	14.48	51.93
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

○体力合計点では、男女とも全国平均、大阪市平均を下回っている。種目別にみると、女子のソフトボール投げが全国平均、大阪市平均を上回っている。

○質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答は、男子87.6%女子87.1%（全国：男子93.2%、女子86.2%）である。

○1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子21.9%、女子23.3%（全国：男子9.2%、16.2%）である。また、総運動時間420分以上の児童の割合は、男子37.5%、女子16.7%（全国：男子50.5%、女子28.5%）であることにより、男女とも運動に慣れ親しむ時間が減少している傾向があるように見受けられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

○各学年で運動に関する出前授業を実施し、様々な運動に触れることができた。引き続き出前授業を通して低学年のときから継続して様々な動きや感覚づくり運動に取り組んでいく。

○かけあし週間やなわとび期間など、意欲的に運動に取り組む児童は多い。しかしながら、男女ともに運動に取り組む機会が減少傾向にある。体育の学習等を通して運動の楽しさや基本的な身体の使い方を学習し、運動する機会を確保することで体力合計点の向上につなげていきたい。

○瞬発性、持久力を高められるトレーニングを学習に組み込み、素地を養っていきたい。

○児童が自主的かつ自由に運動できる時間の確保、安全な環境の整備を進めていく。